



西表研究施設 公開講座

数理モデルで説明する環境変動と生物の応答

シロアゴガエル、サクラマス、ハクサンハタザオを例に

講師： 佐竹 暁子先生・堀田 淳之介さん・永田 拳吾さん
(九州大学大学院システム生命)

九州大学教授の佐竹先生の研究室では、生物の応答を数理モデルを用いて分析し、将来の気候変動下で生じる生物活動の変化を予測する研究をなさっています。本公開講座では、佐竹先生と大学院生の方々に、多様な生物を対象に、侵入種問題、表現型可塑性、開花フェノロジーに関する研究を紹介して頂きます。「数理モデル」を使うことで、生命現象の不思議がどのように解明できるかを分かりやすく解説して頂けると思いますので、生物学や研究活動に興味をお持ちの、多数の皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成30年11月7日（水） 19:00～

会場：琉球大学熱生研西表研究施設講義室



入場無料・事前申し込み不要

座席数には限りがあります（40席を予定）

開始5分前までにご入場下さい

問い合わせ先：西表研究施設事務室

Tel 0980-85-6560 <http://nesseiken.info>

